

「地域密着型の未来の“地域の創り手”人材の育成（ソピアの旗）プロジェクト」

- ・ 探究力、つながる力、多様性受容力、マネジメント力、レジリエンスをもった人材の育成
- ・ 直接・間接に関わらず郷土を愛し誇りを持った、未来の「地域の創り手」となる人材の育成

高知大学次世代地域創造センター
 京都大学大学院矢守研究室
 合同会社Noks Labo
 黒潮町
 黒潮町立佐賀中学校
 地域学校協働活動推進員
 高知県立大方高等学校（PTA・同窓会）
 高知県教育委員会

コンソーシアム

黒潮町観光ネットワーク
 黒潮町立大方中学校

研究開発の実施体制

高知大学地域協働学部
 京都大学人と防災未来センター
 NPO砂浜美術館
 地域・教育魅力化プラットフォーム

運営指導委員会

黒潮町
 高知県教育委員会

カリキュラム開発等専門家

地域協働学習実施支援員

令和2年度の目標

黒潮町の大きな課題である防災やその他の地域課題と自分との関わりを考察し、興味関心に基づいたテーマを選択し実践につなげるプロセスをとおして、「探究力」・「地域とつながる力」・「マネジメント力」・「多様性受容力」・「レジリエンス」を育成する。

成果

- ・ 町内、町外出身の区別なく地域課題へ主体的に取り組めた
- ・ 生徒アンケートでは「地域の魅力や良さを理解する力が身についた」と答える生徒が増加した
- ・ 自分の言葉で伝えられるプレゼンテーション能力が身につけてきた
- ・ 高校魅力化評価システムにおいて、「学習活動」や「学習環境」の領域で肯定的な評価が他地域と比較して高かった

課題

- ・ 探究活動の進め方が十分ではなく、探究になり得ていない面があり推進方法の見直しが必要
- ・ 各教科が横断的にテーマに基づいた探究活動ができるよう、年度当初からのテーマ設定と実施時期の明確化が必要
- ・ 生徒に身につけさせたい力の客観的な評価ができない状況があった

取組状況 カリキュラム開発等専門家や運営指導委員からの助言を受け、カリキュラムの見直しを行った

総合的な探究の時間



Tシャツアート展をもっと楽しくするアイデアを考え発表



黒潮町のアクションプランを読み込み、取り組む課題を決定し発表



地元企業のケースを読み込み、インタビューを行い、学んだことを発表

地域学



国土交通省への提言

地域の方と避難所を考える

